

(様式2)

役員等の利益相反自己申告書

(算出期間： 年 月 日～ 年 月 日)

日本臓器保存生物医学会理事長 殿

申告者氏名：

所属（機関・教室／診療科）名：

本学会での役職名：

本学会所属委員会名：

A. 申告者自身の申告事項

①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名 役割（役員・顧問等）： 報酬額：
②株の保有と、その株式から得られる利益（1つの企業の株による1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該全株式の5%以上保有のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業名： 持ち株数： 申告時の株値（1株あたり）： 最近1年間の本株式による利益：
③企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬（1つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 特許名： 特許使用料：

④企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料等）（1つの企業・団体からの講演料等が年間合計100万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 講演料等の金額：
⑤企業や営利を目的とした団体より、パンフレット等の執筆に対して支払われた原稿料（1つの企業・団体からの原稿料が年間合計100万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 原稿料等の金額：
⑥企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（1つの研究に対して支払われた総額が年間200万円以上のものを記載。奨学寄付金（奨励寄付金）については、1つの企業・団体から1名の研究代表者に支払われた総額が年間200万円以上のものを記載。）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 研究名： 研究費：
⑦企業や営利を目的とした団体からの研究員等の受け入れ	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 受入人数：
⑧企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座に所属している場合	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 寄付講座名：
⑨その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品等）（1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 報酬内容： 報酬額：

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有するものの申告事項

（□有・□無）

有の場合は該当者氏名：

申告者との関係：

①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名 役割（役員・顧問等）： 報酬額：
②株の保有と、その株式から得られる利益（1つの企業の株による1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該全株式の5%以上保有のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業名： 持ち株数： 申告時の株値（1株あたり）： 最近1年間の本株式による利益：
③企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬（1つの特許権使用料が年間100万円以上のものを記載）	有・無（該当する方に○） （有の場合） 企業・団体名： 特許名： 特許使用料：

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本臓器保存生物医学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日（西暦） 年 月 日

申告者署名：